

# LAZER 10

2009  
OCT

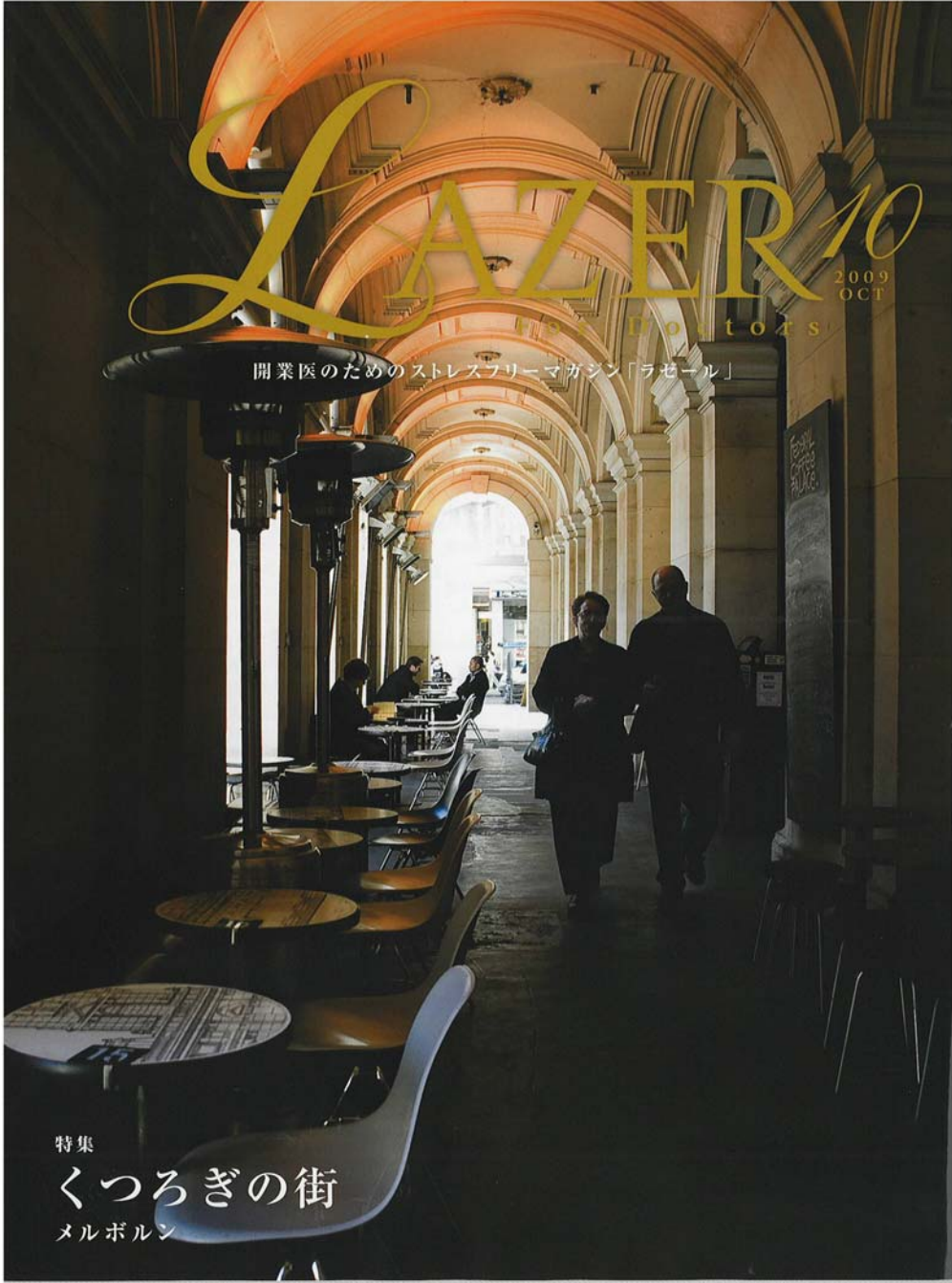
10's Doctors

開業医のためのストレスフリーマガジン「ラゼール」

特集

## くつろぎの街

メルボルン



# 医療制度

Health System

## 高まる未病への取り組み 地域連携抗加齢医学研究会開催

少子高齢社会となった今、健康関連の情報誌やインターネットでは、「アンチエイジング（抗加齢）」「未病」「若返り」などの言葉が乱立している。しかし、消費者や一般市民はそれらをどのくらい正しく理解できているのだろうか。溢れかえる情報に溺れ、正しい選択をするのが難しくなっているのではないか。また、医師や医療従事者が理解しているいわゆる「アンチエイジング（抗加齢）」「予防医学」と、一般市民が考えるそれらとの間に隔たりはないのだろうか。今回、地域連携抗加齢医学研究会という、少しユニークな団体の活動について、高島正広・副会長に語っていただいた。

——まず、団体としての活動目的をお聞かせください。

「地域連携抗加齢医学研究会は、一般的な学会とは少し異なっています。

まず、学会というと、一般の方には何か敷居の高いものと捉えられがちですが、私達の団体は医学的根拠（EBM: Evidence-based medicine）を基に、「予防医学」「抗加齢医学」

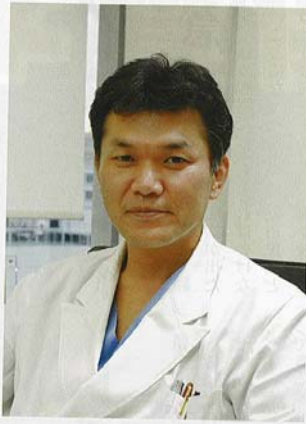
というものを医療関係者のみならず、一般の方にも正しく認知してもらおうことを目的としています。様々なアプローチ方法がありますが、例えば一般市民参加型の健康イベントで、医師の指導のもと正しい医学的知識をお伝えする、などです。現在の社会は情報化が進み便利になった反面、どれが正しい情報なのか分からなくなってきたという問題があると思います。私達が目指しているのは、

学術的なアプローチではなく、臨床的なアプローチです。いわゆる健康系の「イベント」でも、「学術大会」でもない、今までに無いアプローチを考えています」

——これまでどのような活動をされてきたのですか

「年に1回開催する研究会を軸に活動してきました。研究会では、内科、歯科の医師はもちろん、栄養学、運動学、心理学等、様々な分野の第一線で活躍されている先生に講演してもらいます。また、多分野の方々にご参加いただき、活発的なパネルディスカッションも行っています。2006年1月から昨年4月まで計4回の研究会開催を経て、東京だけではなく、日本全国規模に拡大して

最



地域連携抗加齢医学研究会 副会長

### 高島正広

大阪府立北野高校卒業。近畿大学医学部卒業。同大学付属病院形成外科を経て浜松医科大学救命救急部へ。救命救急マイクログルサー（顕微鏡手術）チームとして活躍。高島クリニック（QOL研究所）院長。日本健康指導支援機構常任理事。特定非営利活動法人ジャパン・メディカル・リンク理事長。国際統合医療学会評議員。

の抗加齢医学（アンチエイジング医学）に関する情報交換と連携の促進を実現すべく、名称を『地域連携抗加齢医学研究会』に変更しました。全国展開への第一歩が11月の大阪大会です」

### 大阪大会の内容をお聞かせください

「大阪大会の大きな特徴は、大阪府大阪市の後援を実現したこととです。

研究会のような集会では行政の後援をもらうのが難しいのですが、アンチエイジングを大阪の街おこしに活用していきたいということをよく話し込んで、理解してもらうことができました。橋本府知事にも講演してもらおう予定です。健康や未病への取り組みを大阪の地場産業とし、大阪の街おこしをしていきます。「大阪＝美と健康の先端都市」となっていくことを目指しています」

### 地域との連携についてはどのようにお考えですか

「医療というのは地域と連携していくことが重要だと考えています。環境、気候、人口の層など、地域毎に異なる部分がありますので、それに伴い取り組みも変えていく必要があります。また地域医療といえは、その中核を担っていくのはその土地の開業医の方々だと考えています。開業医の方々には、もっと積極的に予防医学について何か取り組みを導入して欲しいというのが私達の願いです。しかしながら、予防医学の取り組みを導入したいと思っても、実際にはどうしたらよいか分からない方も多いと思いますので、私達の活動や大会にご参加いただいで、予防医学への取り組み方について、考えるきっかけとなれば幸いです」

### 今後の活動予定や目標をお聞かせください

「今後は、11月の大阪大会を皮切りに、大阪地方会、九州大会などを予定しています。また、一般市民参加型のイベントも開催していく予定です。そうして、臨床・研究両面の指標確立を目指した多面的なアプローチを実践し、今後の日本の抗加齢医学の基礎臨床に貢献し得る医学的根拠の確立を目指していきます」

#### 地域連携抗加齢医学研究会

(会長・久保明 東海大学抗加齢ドック教授)

2004年発足。役員は20名で、会員数は約250名。

これまでの研究会延べ参加者数は約2,000名。

#### 大阪事務局

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場3-8-7 三栄ムアビル10F

NPOジャパン・メディカル・リンク <http://japanmedicalink.com/>

TEL:06-6244-9337 FAX:06-6253-8711

メール: h.shikawa@qolifo.net (担当:石川)

#### リーダス・メディカルマーケティング

#### 地域連携抗加齢医学研究会

#### 東京事務局

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-1-1 井ビル5F REDAS株式会社

TEL:03-5368-3022 FAX:03-5919-2854 (担当:田中、水野)

IWCの時計がどのくらいもつのか、私達にはわかりません。まだ141年しか経っていませんから。

IWC.03.3038.4039



IWC  
SCHAFFHAUSEN  
SINCE 1868



およそ120歳。

**ポルトギーゼ・クロノ・オートマティック Ref. 3714**: IWCの時計は、世代から世代へ受け継がれるように設計されています。頑強なケースは3気圧防水を備えています。そして、ポルトギーゼはきっと私たちより長生きするでしょうから、時計のひとつひとつが総合データベースに登録されています。こうして、続く世代は時計がどこからきたのかを知ることができます。あいに、遺産相続にありがちな争いをなくすことはできませんが、**人類のために設計された時計、IWC**

機械式クロノグラフ・ムーブメント

自動巻き | 秒針停止機能付き

スモールセコンド計 (写真)

無反射コーティングのサファイアガラス

3気圧防水 | 直径40.9mm | ステンレススチール



【北海道】札幌三越 011-271-3311 【宮城】HF-AGE 仙台店 022-711-7271 三越仙台店 022-225-7111 【京橋】TOMPKINS 水戸 029-257-5888 【栃木】TOMPKINS 長野 0283-22-5550 【東京】BEST 新宿本店 03-5360-0800 伊勢丹新宿店 本館4階 ジュエリー・ウォッチング 03-3202-1111 伊勢丹 有明表参道 03-5785-3600 大塚店 池袋本店 03-3562-0022 COMMON TIME 渋谷 by CHARMY 03-3780-5550 M&R サロン・セントレ銀座店 03-5537-5805 銀座三越 03-3562-1111 日本橋三越本店 03-3241-3311 日本橋タリヤヤ 03-3211-4111 東京百貨店 銀座店 03-3581-2211 【神奈川】そごう横浜店 045-455-2111 【福岡】TANAKAウォッチギャラリーの内の店 052-951-1600 【三重】CLEAR by KAWASUMI 059-373-6841 【大阪】真ん中 06-6636-6630 【岡山】アイジュエリーウマキ 岡山店 086-244-5888 上記以外の正規取扱店はIWCホームページをご覧ください。 IWC Schaffhausen, Switzerland. www.iwc.com